

京都産業大学における情報入試

Yutaka Yasuda

京都産業大学の「情報」入試

- 「情報プラス」型
前期一般入試・2科目型日程
併願オプションとして3限目に追加
選択者は英数情「でも」合格判定
- 配点
英数100点・情報200点
- 情報で高得点を出せる人は是非



2025年度一般入試「情報プラス」の問題構成

- 三つの柱
 - コンピュータ・サイエンス
 - データ・サイエンス
 - プログラミング
- 「情報Ⅰ」の領域の一部分
 - 「情報プラス」は学部が求める専門領域に絞ってレベル高めで

大問6つ必答（80分・22 pages）

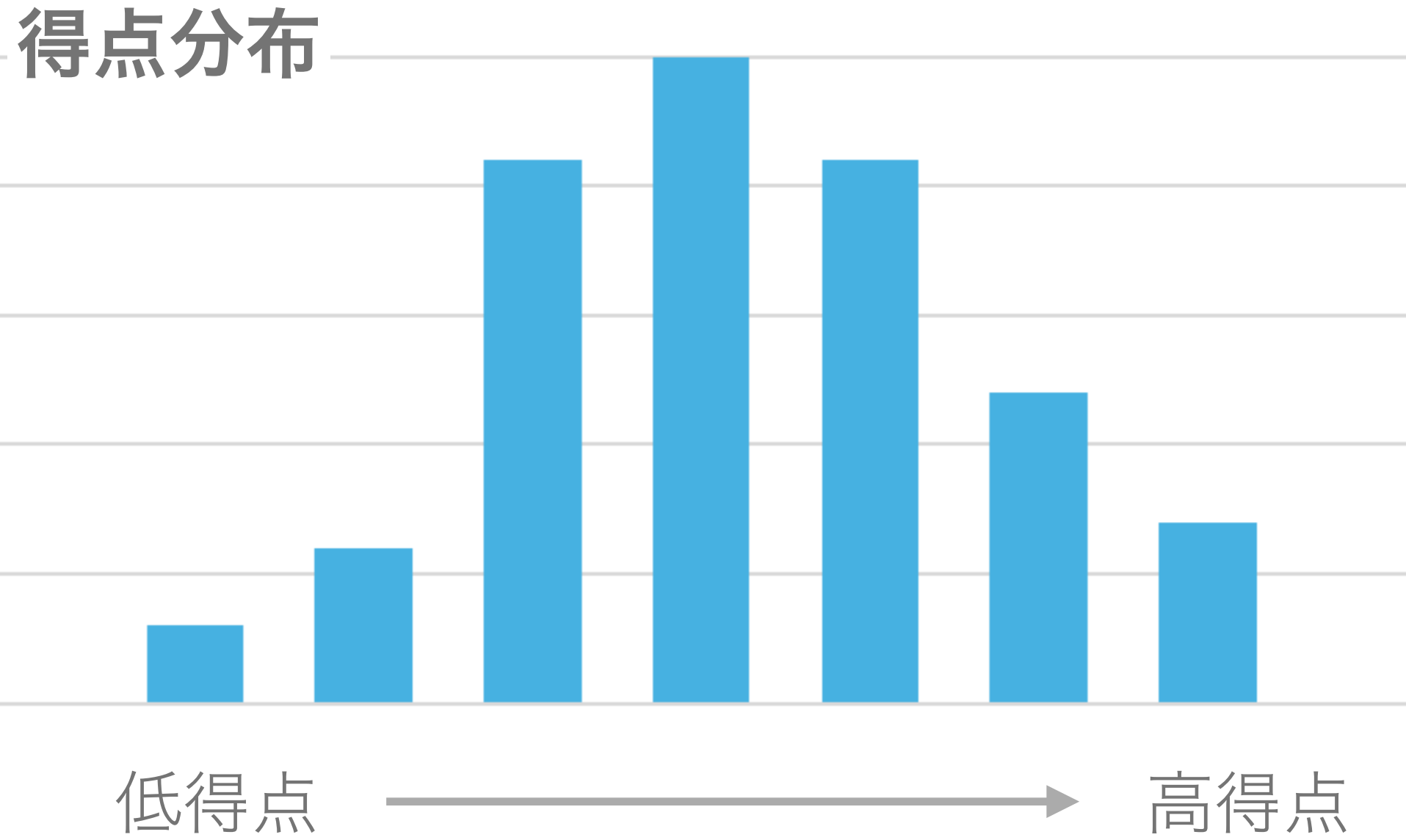
- I. コンピュータアーキテクチャと動画データのバイト量 **CS**
- II. バーコードによるデータ表現 **CS**
- III. ビットシフト処理のフローチャート穴埋め **CS PG**
- IV. グループ分けを行うプログラム **PG**
- V. 旅行者統計（表・グラフ）からの情報読み取り **DS**
- VI. エアコンによる室温変化シミュレーション **DS**

実施結果：受験者数・倍率など

	志願者数	選択者数	選択率	受験者数	合格者数	情報選択者の倍率	全体の倍率
理学部	122	18	15%	17	5	3.4	6.3
情報理工学部	198	95	48%	95	38	2.5	4.7

<https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/exam/entrance/statistics/>

- ・ 比較的良い状態でボーダーラインが引けた
定着率も高め
- ・ 多くの受験者がいることが重要
そのような「工夫」を入れるとよい



2026年度入試における「情報プラス」

- 一般入試（前期）スタンダード2科目型で引き続き「情報プラス」を実施

1時限め (80分)	2時限め (80分)	3時限め (80分)
英語 (100点)	数学 (100点)	情報 理学 (100点) 情理 (200点)

- 公募推薦入試の一日目に新たに「情報プラス」を導入

1時限め (90分)	2時限め (45分)
英語 (100点) 数学 (100点)	情報 理学 (100点) 情理 (200点)

全問マーク解答

「こういう人に来て欲しい」が言える入試を

- ・ 情報の指向性を十分に試した人を採りたい
- ・ 「ミスマッチ進学」をなるべく防ぎたい
- ・ いまは一般入試で問える状況になった → やらない理由がない

**数学科が「数学」 物理学科が「物理」の
理解度を個別試験で測るように
情報系学部が「情報」の理解度を
個別試験で問うのは当然ではないか**

2025/7/24

京都産業大学 情報理工学部・理学部が「情報プラス型」入試を公募推薦入試にも導入 2026年度入試より

大学ジャーナルオンライン編集部

📖 2026年度入試 公募推薦入試 情報 🎓 京都産業大学



新課程2年目の2026年度入試は、情報を個別試験で出題する大学が増加、このチャンスを見逃すな！



教科「情報Ⅰ」を必修とする新課程への完全移行を受け、2025年度入試の大学入学共通テストでは、すべての国公立大学が「情報Ⅰ」を課すことになった。これと並行して、特に私立大学では、入試の個別試験の一部に「情報」の試験を新たに導入する大学が増えた。「情報プラス型」入試を実施した京都産業大学の情報理工学部・理学部もその一つ。一般選抜において「情報」を個別科目として明確に評価する先駆的な取り組みとして注目を集める※。その導入の意図や経緯、今後の展開について、情報理工学部長の奥田次郎先生に聞いた。